

GORO

大胆な構成力と力強いタッチ、繊細な色づかいで物事の本質的美しさを画面に表すべく厳しく自己に向き合い、多くの作品を残した梅津五郎。生誕100年を記念し展覧会を開催します。

眼に見えない心も、
心の使い方によっては、
眼にも見え、形にも表れると信じている。
心は美しい使い方をすべきだ、と思っている。

(梅津五郎 広論社『梅干しとらっきょう』より)

生誕 **100年** / 記念
梅津五郎 絵画展
2020.4.7 [火] - 5.10 [日]

開館時間 = 9:00 ~ 19:00

休館日 = 4月は月曜日、5月は5/7(木)

観覧料 = 一般個人 200円 高校生以下無料

※あゆ一む年間パスポート提示で無料

※高校生以下のかたは、生徒手帳をご提示ください

UMEZU

The 100th Anniversary of His Birth

《自画像》1987

主催・お問合せ・会場 =

白鷹町文化交流センター あゆ一む AYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字結貝 7331 番地

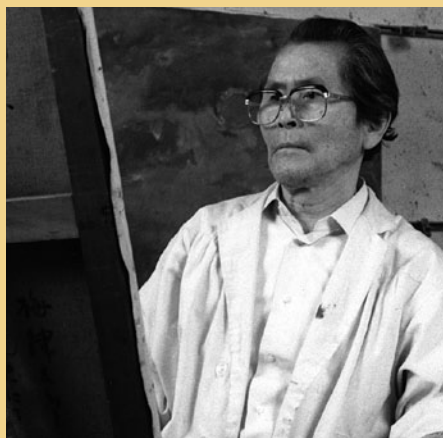
TEL. 0238-85-9071

生誕 **100年** / 記念
梅津五郎絵画展
2020.4.7 [火] - 5.10 [日]

GORO

UMEZU The 100th Anniversary of His Birth

梅津五郎プロフィール



梅津五郎

1920年（大正9）山形県白鷹町浅立に生まれる。18歳の時画業を志して上京。森田茂、熊岡美彦の両氏に師事する。

東光展と日展を主な発表の場として、1956年（昭和31）の第12回日展において、自らが働く中華料理屋の厨房を描いた「調理場」で特選を受賞、独特の生活感が評価される。

1962年（昭和37）、42歳の時にフランスに留学。フランス滞在中にサロン・デ・ボザール展に初出品し準会員に推挙される。フランス滞在以後色彩が豊かで鮮やかになり、帰国後極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは、日本の風景に加え、自らのアトリエ（新宿区下落合）から見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈。2003年（平成15）83歳で没する。



アクセス

あゆーむ 白鷹町文化交流センターAYu:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分

[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分

[お問合せ] 0238-85-9071

梅津五郎芸術賞 第3回 全国絵画公募展 作品募集中

梅津五郎芸術賞「全国絵画公募展」は2013年（平成25）、没後10周年記念企画の一環として始まり、第2回を2016年（平成28）に実施しました。

現在、第3回の作品を募集中（〆切2020年7月5日）

梅津五郎生誕100年に当たる本年、9月に審査・入選作品発表展・表彰式を行いません。詳細は別紙「応募要項」をご覧ください。

審査員

松田 茂

（東光会副理事長・日展会員）

番場三雄

（東北芸術工科大学教授・日本美術院同人）

小林俊介

（山形大学教授・博士〈芸術学〉・画家）

4月1日から受付開始

AYu:M 年間パスポート

年会費2,000（税込）円（税別）で3つの特典

特典1 観覧料200円のギャラリー展示は無料（何回見ても可）

特典2 観覧料201円以上のギャラリー展示は200円引き（団体割引との併用は不可）

特典3 あゆーむホールの有料イベントはチケット料金を500円引き（会場での本パスポート提示により500円を返金）

あゆーむまでお申し込みください

- ※有効期限：4月1日～翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆーむが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆーむカレッジの事業（うたごえ喫茶・アートキッズ団など）は適用外です